



地区世界社会奉仕委員会

委員長 植村 宏一郎

(大阪平野RC)

2006年5月27日マグニチュード5.8、続いて7月17日にマグニチュード6の地震がジョグジャカルタを襲いました。その結果5,136名の尊い命が奪われ、建物45,289棟が倒壊するという甚大な被害を当地にもたらしました。

神崎PGは、すぐ2660地区内86クラブに義援金の協力をお願いし、4,200名のロータリアンから約400万円の募金が集められました。通例ならRI本部に送金するところですが、当地区はWCS活動が活発でインドネシアとの実績も多く、地区独自のプロジェクトとして行えないかと地区世界奉仕委員会に相談がありました。

地区WCS委員会は、インドネシアに実績のある茨木RCの協力を得て情報収集にあたり、食料・医薬品等の緊急物資支援を検討しましたが、それらについては地元RCがすでに実施していることが分かりました。そこで我々は子供たちにとって最も重要な問題である教育に着目し、中でも年少者が通う小学校の回復を最優先課題として、破壊された小学校の復興支援プロジェクトを決定しました。

ジョグジャカルタRCは、地元の市、政府、学校長、建設会社と緊密に連携を取り、瓦礫の撤去から始

まり設計、施工を開始。完成まで、子供たちはテントの仮校舎で土の上に座って授業を受けましたが、1年後の2007年4月に新校舎が竣工しました。

ラゲンサリ国立小学校再建プロジェクト

本小学校はジョグジャカルタ市内に位置し、生徒数は約500名ですが、新校舎では1,000名以上が学べるようになりました。建物は3ユニットあり、各ユニットには教室が6つ。全部で18クラブの二階建てで、ロータリールームもあります。建設資金は、RI2660地区から総額の83%にあたる34,174.51ドルを寄贈し、残りの17%は他の団体から寄贈で賄われました。

竣工後、2007年5月13日から18日まで、地区WCS委員と茨木RCの方々と、現地の完成式典に出席しました。市長やD3400スジャトミコガバナーや学校長から感謝のスピーチがあり、神崎PGが完成お祝いのメッセージを読みあげ、子供たちからもたくさんの喜びの拍手をいただきました。

このプロジェクトが成功裡に終わったのも、2660地区4,200名の暖かい支援の心と、茨木RCやジョグジャカルタRC、またこの建設にかかわった多くの人々、そして神崎PGの決断によるものです。

最後に、二度とこのような不幸な災害が起こらないことと、子供たちが健康でのびのびと成長することを、心からお祈り致します。

《ファイナル・レポートは、ガバナー事務所にあります》



bii		NOTA KREDIT		TANGGAL: 13/11/2006
CABANG: YOGYAKARTA		KEPADA: SADANA MULYONO		
		2.027.01888.7		
Telah dikredit rekening Saudara mengenai:		Jumlah yang dikredit		
INCOMING TRANSFER DARI ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660		RpD 34.174,51		
WORLD COMMUNITY S-1-4-17-800 TAMAGA				
WA, FUKUSHIMA-KU, OSAKA, JAPAN				
PPK '84 - NKU		Tanda tangan yang berwenang		